

就業前長期研修修了者の就業状況

1 就業状況

(1) 令和4年度（第一期）生の就業先

単位：人

| | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計 |
|------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 森林組合 | — | 1 | 1 | 2 | — | — | 1 | 5 |
| 民間企業 | 2 | 3 | 1 | — | 2 | — | 1 | 9 |
| 計 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | — | 2 | 14 |

※当初南会津管内へ就業した2名のうち1名は、県中管内の民間企業へ転職した。

(2) 令和5年度（第二期）生の就業先

単位：人

| | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計 |
|------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 森林組合 | — | 2 | 1 | — | — | 1 | — | 4 |
| 民間企業 | 2 | 2 | 2 | 4 | — | — | — | 10 |
| 計 | 2 | 4 | 3 | 4 | — | 1 | — | 14 |

(3) 令和6年度（第三期）生の就業先

単位：人

| | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計 |
|------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 森林組合 | — | 2 | — | 1 | — | — | — | 3 |
| 民間企業 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | — | 2 | 11 |
| 計 | 1 | 5 | 2 | 2 | 2 | — | 2 | 14 |



(4) 就業実績

| 就 職 実 績 | | |
|---|---|---|
| 第1期生 | 第2期生 | 第3期生 |
| (有)武田林産(二本松市) 里山再生合同会社(二本松市) (株)アメリカ屋(郡山市) (有)ネイチャーリバイブ(須賀川市) ふくしま中央森林組合石川事業所(石川町) (株)妙見林業(石川町) 西白河地方森林組合(白河市) (株)池田林業(塙町) 会津若松地方森林組合(会津若松市) 合同会社はりゅう林業(南会津町) いわき市森林組合(いわき市) (有)平子商店(いわき市) | 里山再生合同会社(二本松市) 安田林業(株)(大玉村) 田村森林組合(田村市) (有)ネイチャーリバイブ(須賀川市) (有)大須賀林業(天栄村) 東白川郡森林組合(棚倉町) (株)秋山林業(棚倉町) (株)ミツヤマグリーンプロジェクト(白河市) (有)六和林業(猪苗代町) 栗城林業(株)(会津美里町) 佐久間建設工業(株)(三島町) 飯館村森林組合(飯館村) | (有)斎一林業(福島市) (株)アメリカ屋(郡山市) 田村森林組合(田村市) (有)大須賀林業(天栄村) (株)ミツヤマグリーンプロジェクト(白河市) (株)秋山林業(棚倉町) (株)桜林業(湯川村) 会津若松地方森林組合(会津若松市) (有)共和林業(下郷町) 湯田林業(株)(南会津町) 遠野興産(株)(いわき市) |
| 修了生全員が福島県内の林業事業体等に就職しています。 | | |

(5) 定着率

| | 就業者数 | 離職者数 | 定着率 |
|-------------|------|------|------|
| 令和4年度(第一期)生 | 14人 | 2人 | 86% |
| 令和5年度(第二期)生 | 14人 | 1人 | 93% |
| 令和6年度(第三期)生 | 14人 | 0人 | 100% |

2 定着率向上への取り組み

(1) 修了生面談（個別）

令和6年度研修修了生（14名）を対象に下記のとおり面談を行い、状況を確認した。

(ア) 実施時期 令和7年7月7日から8月7日まで

(イ) 実施方法 就職先を訪問して面談（1名のみ電話による聞き取り）

(ウ) 面談項目

| 修了生 | 就業先の管理職員、指導職員 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・就業条件等 ・就業3ヶ月を経過しての感想、アカデミーで学んでおきたかったことなど ・就業等に関して困っていること | <ul style="list-style-type: none"> ・就業条件等 ・修了生の様子、評価 ・アカデミーでもっと学んでおいてほしかったことなど |

(エ) 面談結果

□ 修了生

■ 就業条件

- ① 給与： 月給制と日給・月給制に分かれている。
- ② 休日： 週休一日（8名）が週休二日（6名）より多かった。

■ 仕事内容

- ① 伐採・搬出 10名
- ② 植栽・育林 2名
- ③ 調査 1名
- ④ 特殊伐採 1名

■ 林業アカデミーで学んでおいてよかったこと

- ① 基本的な知識や作業方法
- ② 林災防によるリスクアセスメント演習
- ③ 指示内容を理解できる、仕事の流れがわかる
- ④ QGISの使い方、地図の読み方、測量器具の扱い方

■ 林業アカデミーで学んでおきたかったこと

- ① 高性能林業機械等の実践的な操作方法
- ② チェーンソーや高性能林業機械のメンテナンスにかかる時間がさらに必要
- ③ 植栽面積を増やし、より実践的な植栽を行いたかった。
- ④ 笹刈り刃の目立て

■ 困っていること

- ① 支給されると言われていた物品が支給されない。

□ 就業先の管理職員、指導職員

■ 修了生の様子、評価

技術力はまだまだという評価であるものの、真面目な勤務態度から今後に期待する声を多くいただいた。

(2) アカデミーへの要望

- ・常駐でチェーンソー技術等を教える人材がいるとよい（自主練習では間違っただけの内容を覚えている研修生がいる）
- ・中途採用者向けの研修が必要ではないか（林業経験者でも業務内容によっては知識がなく入社する方がいる。または安全な作業方法を知らないで入社する）
- ・2年制にしてほしい（専修学校化）。
- ・現在のPR方針は、チェーンソーに特化している。チェーンソー作業以外（森林管理、測量など）を希望する方を呼び込めない。
- ・インターンシップやアカデミー関連のお知らせをメールではなく、アプリを利用してもらえないか（Slack や Teams 等）
- ・小学生と研修生が関わりを持つ研修イベントを催せないか（小学生に林業への興味を持ってもらうこと、研修生の意欲向上という狙い）。

(2) 修了生面談（集団）

令和6年度研修修了生（14名）を対象に下記のとおり面談を行い、状況を確認した。

(ア) 実施時期 令和7年10月10日（金）13:00～14:50

(イ) 実施方法 アカデミーに集合して全員で面談

(ウ) 面談項目 経験したヒヤリハットを共有し、今後の安全意識向上を狙った。

(エ) 面談結果

□ ヒヤリハット内容

- ・グラップルでフォワーダに材を積み込みしていた際、操作ミスにより、グラップルのアームがフォワーダに当たりそうになった。
- ・材を積み込むために、フォワーダをバックでグラップルに近づけていた際、合図が伝わらずフォワーダがグラップルに衝突した（スピードが遅かったために被害は小さい）。
- ・伐倒した際、つる絡みにより枯死木が自分の方へ倒れてきた。
- ・斜面上部に伐倒した材が自分の方へ滑り落ちてきた。
- ・蜂に3回刺された。
- ・広葉樹の枝払いで、誤って支え枝を切ってしまう、材が回転して足に当たった（怪我無し）。
- ・つる切り用の鎌を使っていた際、勢い余って膝を少し切った。
- ・走行するフォワーダの荷台から落ちた。
- ・現場で転んで骨折した。
- ・グラップルのアームを伸ばしすぎて倒れそうになった。
- ・枯れ木を伐倒していた際、強風で伐倒木が押し戻され、枝が自分に当たった。
- ・木を登っていた際に、足を滑らせて数m落下した。
- ・枝払いでチェーンソーパンツを切った。

令和7年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修における講師打合せ

1 趣旨

各講師より今後のカリキュラムに対する意見等をいただくことが増えたため、地域や所属で異なる考え方を持つと思われる実習講師同士が意見交換をする機会を設けた。

2 結果

(1) 日 時 令和7年7月31日(木)13:00～15:40

(2) 出席者 講師:会場参集9名、WEB参加8名 計17名 ※別紙のとおり
事務局:森林計画課1名(WEB)、林研3名

(3) 内 容

ア) 自己紹介 参加者全員で自己紹介を行った。

イ) 資料説明

- ・令和7年度カリキュラムの概要
- ・令和8年度カリキュラムの変更案

→はい作業従事者安全衛生教育、検知に関する研修、不要萌芽整理に関する講義、自習を拡充し、ハーベスタシミュレータトレーニングの時間を実態に合わせて縮減させる。

- ・サポートチームの概要

ウ) 主な意見

- ・体力作りのカリキュラムが必要ではないか
- ・検知作業は難しいため、日々のチェーンソー練習の際に測ること習慣化してはどうか
- ・検知作業も組織によって測り方が異なる場合があるため、市場だけではなく様々な組織から測り方等も学ぶと良い
- ・不用萌芽整理に関する研修は、この事業が必要な理由を教えただけで見学等を実施してほしい。実施後の状況も見学した方がなお良い
- ・アカデミーとしてグラップルがあった方がよいのでは
- ・技能検定制度をアカデミー研修生に受験させることを検討してほしい
- ・以降も、今回のように、あるいはもっと細分化して講師間の打合せを活発にしていってほしい。話し合う中で「ふくしまスタイル」と言えるような技術指針ができるとなお良い
- ・講師間、あるいはアカデミー等と情報を共有できるシステムが必要ではないか

3 対応経過

- 体力づくりのカリキュラムについて
→カリキュラムへの導入は、社会人教養(自己啓発※自習)を使って検討するとともに、研修生に体力不足の問題を共有し、休憩時間や放課後を使った体力増進を勧めた。
- 検知に関する研修について
→意見を元に研修内容を検討するとともに、習慣化できるようアカデミー職員が自習する研修生に対して指導を行うことを検討する。
- 不要萌芽整理の研修について
→意見を元に研修内容を検討する。
- グラップルの購入について
→予算要望中
- 今後の打合せについて
→今後も引き続き運営会議外の講師間打合せを実施していきたい。回数及び時期に関しては研修の状況を鑑みて判断していく。
- 講師間及びアカデミーで情報を共有する仕組みについて
→メッセージアプリ「slack」を試験導入。インターンシップ先との調整に使うことを想定しているため、現在インターンシップ先との調整業務を委託している福島県森林・林業・緑化センターと試験運用準備中。

令和7年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修における講師打合せ 出席者名簿

| No. | 所 | 属 | 氏名 | 備考 |
|-------|--------------------------------------|---|-------|-------|
| (講師) | | | | |
| 1 | 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 林業労働力確保支援センター | | 柳田範久 | |
| 2 | 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 林業労働力確保支援センター | | 津野千枝美 | |
| 3 | 林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部 | | 半田盛輝 | |
| 4 | 福島県北森林組合 | | 木村竜輔 | WEB参加 |
| 5 | ふくしま中央森林組合石川事業所 | | 鈴木清人 | |
| 6 | 西白河地方森林組合 | | 真船駿太郎 | |
| 7 | いわき市森林組合 | | 草野宏 | WEB参加 |
| 8 | 有限会社大須賀林業 | | 大須賀浩恭 | WEB参加 |
| 9 | 有限会社田部林業 | | 田部博之 | WEB参加 |
| 10 | 真名畑林業有限公司 | | 早濑浩 | WEB参加 |
| 11 | 株式会社秋山林業 | | 秋山健人 | |
| 12 | アイパワーフォレスト株式会社 | | 五十嵐健太 | |
| 13 | 合同会社T FOREST | | 高橋真也 | |
| 14 | 有限会社平子商店 | | 平子作麿 | WEB参加 |
| 15 | 有限会社南湖建設機械講習所 | | 真船真三 | |
| 16 | 株式会社アクティオ | | 弦間和仁 | WEB参加 |
| 17 | 株式会社アクティオ | | 長澤健太 | WEB参加 |
| (事務局) | | | | |
| 1 | 福島県林業研究センター所長 | | 石井清隆 | |
| 2 | 福島県林業研究センター企画研修部長 | | 飯沼良弘 | |
| 3 | 福島県林業研究センター企画研修部副主査 | | 加藤沙織 | |
| 4 | 福島県森林計画課 | | 住谷和彦 | WEB参加 |

林業アカデミーふくしま就業前長期研修における損傷した施設への対応報告

1 事故概要

- (1) 日時 令和6年12月20日(金) 14時30分頃
- (2) 場所 埴町実習フィールド
- (3) 施設 架線集材施設
- (4) 科目 林業架線作業主任者免許規定に定められた講習
- (5) 経緯
 - ① 搬器に3mスギ丸太を付けた状態で横取り動作の実習を行っていた際に、元柱が折れる事故が発生した。
 - ② 研修生がホールバックラインを引いた後、搬器の位置を調整するために単動でリフティングラインを緩めようとした際に、誤ってエンドレスラインを土場側に5m程度引く操作を行った。
 - ③ 5m程度動いた後に、指示出し役の山側が誤操作に気づき、ストップの指示を出した。
 - ④ エンドレスラインが停止したところ、元柱(鉄塔)が山側へ傾き、根元が潰れ、潰れた箇所が地面に突き刺さった状態となった。ワイヤー及び滑車類に損傷はなかった。
- (6) 原因について
 - ① 操作ミス
 - ② ホールバックラインの軌道修正のために元柱に付けた滑車



2 対応報告

(1) 鉄塔及びワイヤー類の撤去

- ① 業務期間 令和7年2月27日(木)～3月25日(火)
- ② 業務内容 安全確保のため、折れて不安定となった鉄塔及びワイヤー類等の撤去及び現地保管

(2) 林業架線集材機等の移設

- ① 業務期間 令和7年9月24日(水)～10月20日(月)
- ② 業務内容 埴町実習フィールドから県林業研究センター内へ集材機及びワイヤー類等を移設

(3) 研修での利用

- ① 研修日 令和7年10月31日(金)
- ② 研修内容 集材機の設置及び索張りを行い、操作方法実習

